

伊集院保健所感染症情報

2026年第6週（令和8年2月2日～令和8年2月8日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

**管内流行発生警報発令中：インフルエンザ、伝染性紅斑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

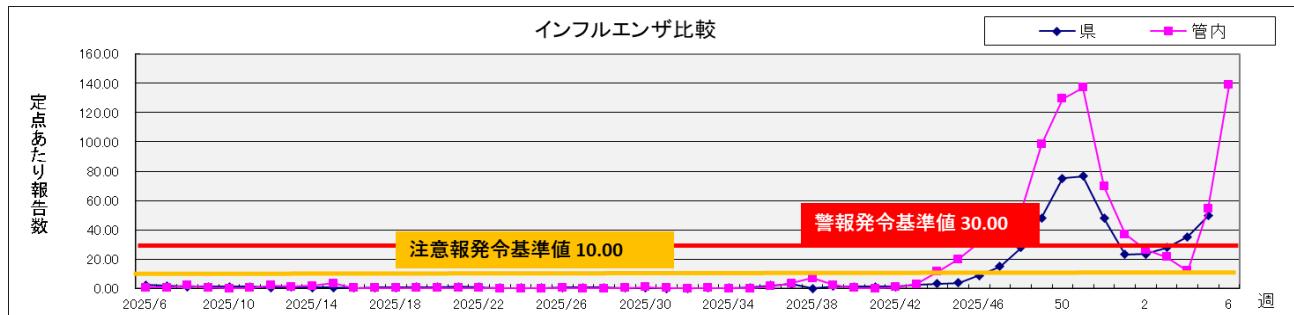
定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値			注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値		第3週	第4週	第5週	第6週	先週からの増減	第5週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	79.00	119.00	159.00	222.50	↗	100.68	↗	
インフルエンザ	30	10	10	21.50	12.00	54.50	139.00	↗	49.60	↗	
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.50	0.50	→	0.46	↗	
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	1.00	1.00	0.00	↘	1.16	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	9.00	9.00	9.00	5.00	↘	2.39	↘	
感染性胃腸炎	20	12	—	11.00	9.00	11.00	7.00	↘	8.29	↗	
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.23	↘	
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↗	
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	3.00	3.00	1.00	↘	1.35	↘	
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.52	↗	
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→	
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗	
R Sウイルス感染症	—	—	—	1.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.68	↘	

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）

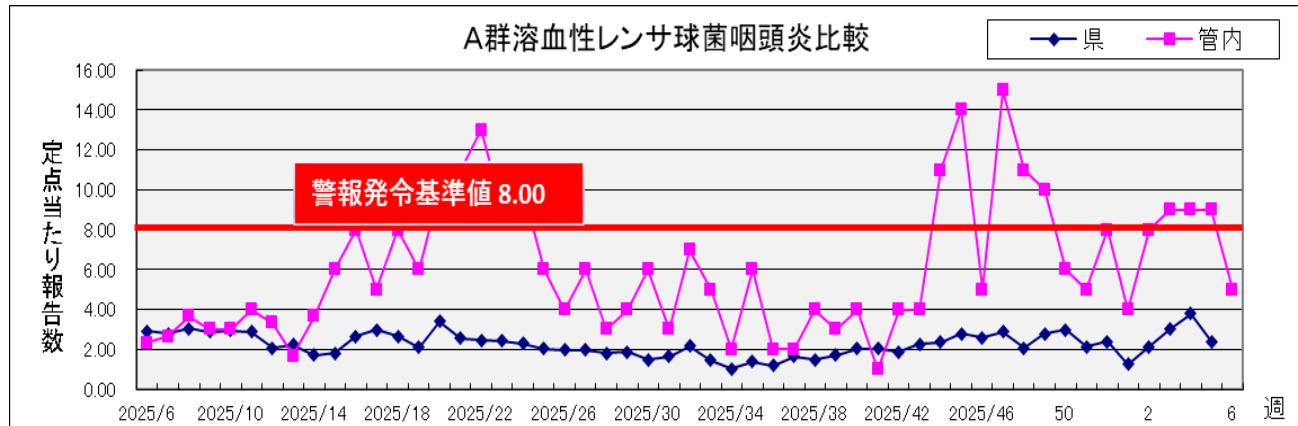


第6週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、5週の109人（定点当たり54.50）から169人多い、278人（定点当たり139.00）です。年齢別では、1番多い10～14歳（105人）で全体の38%を示しています。

インフルエンザは、発症すると38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあります。高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



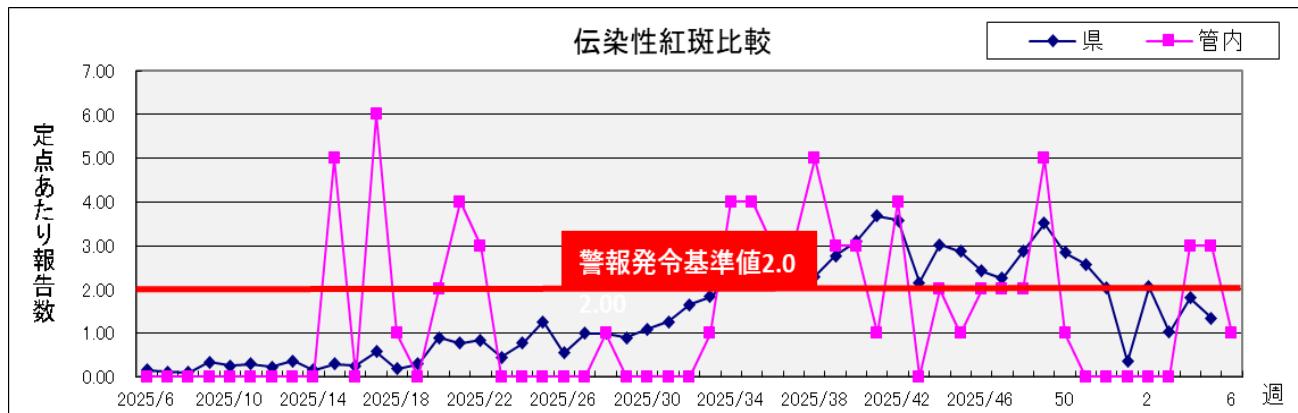
第6週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、5人でした。年齢別では、4歳・5歳（各2人）、3歳（1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が苺のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第6週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5歳（1人）定点当たり1.00でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることがあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう

○学校における感染症による出席停止の状況2/2～2/8（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが426人（型不明210人、A型1人、B型215人）、感染性胃腸炎4人、溶連菌感染症が1人報告されています。

自治体名\疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	感染性胃腸炎	溶連菌感染症
日置市	146	0	128	4	1
いちき串木野市	64	1	87	0	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	210	1	215	4	1